令和2年度 茨木市立東小学校学校経営計画

《笑顔かがやく東っ子のために》

子どもを取り巻く状況は年々厳しさを増している。子どもたちの将来のために、知・徳・体のバランスのとれた人間の育成をめざし、この東小学校が、子どもたちが笑顔で過ごせ、安全で安心できる居場所となるよう、全教職員が一体となって充実した教育活動を展開していきたい。また、子どもたちの課題を明らかにし、めざす子ども像を全教職員で共有しながら信頼される学校づくりを進めていきたい。

そのためには、教職員が、向上心と人権意識を持って日々研鑽に努めるとともに、学校が組織として機能するよう教職員一人ひとりが、『チーム東』を意識し、学校内外の人たちと連携協力して、効率的効果的な教育活動を進めることが大切である。

1. 教育目標

「知・徳・体の調和のとれた実践力のある人間」の育成

2. めざす学校像

- ◆安全で安心できる居場所となる学校
- ◆一人ひとりのよさや学力、体力を伸ばす学校
- ◆自ら学び、自ら考える力を身につけ、豊かなコミュニケーション力を育てる学校
- ◆保護者や地域と信頼しあえる、開かれた学校

3. めざす子ども像

よく考える子ども

心の美しい子ども

きまりを守る子ども

たくましい子ども

4. めざす教師像

㊦ ようじょう豊かに、一人ひとりを大切に、ほめて、認めて児童を育てる教職員

⇒ 研ぎ澄まされた人権感覚を！

⇒ 多面的な子ども理解（外面だけでなく、内面理解も）を！

㊧ っちりスクラムくんで、安心できる学級・学年・学校づくりをめざす教職員

⇒ 信頼と連携、学び合いと磨き合いでつながろう！

⇒ 家庭・地域との相互理解と信頼しあえる学校づくりを！

㊨ っかり学力・体力をつけるために授業改善に取り組む教職員

⇒ すべての子どもが安心して学べる集団づくり（子どもと子どもをつなぐこと）をベースにした授業づくりを！

⇒ だれにどんな学力・体力をつけるのかを明確にし、一人ひとりに学ぶ意欲と確かな学力をつける授業を！

5. 今年度 重点目標

◆安全で安心できる居場所となる学校 ～居場所づくり・絆づくり～

子どもが困り感や不安感を持たず、安心して活動できる場づくり

主体的に子どもが活動できるよう工夫し、その中で、互いを認め合ったり、心のつながりを感じたりできる絆づくり

① 授業づくり

・子どもが主体的に参加・活躍できる授業で、自己有用感と自己肯定感を育てる。

・授業の中で、子ども同士をつなげる場面をつくり、自らの考えを他者と交流することで、自らの考えを深められる子どもを育てる。

② 人権教育、障がい理解教育、支援教育の推進と児童・生活指導の充実を

・「ストレスなく語る、つなぐ、つなげる、つながる」…安全安心の学級・学年づくりを進める。

・「みんなちがってみんないい」…互いの持ち味やちがいを認め合い、ともに生きようとする力を育て、いじめをしない、させない、許さない子どもの育成をめざす。

・集団生活を営むためのルールや規律を身につけさせる。

③ 家庭・地域、保幼小中連携

・保・幼・小・中で子どもの課題を共有し、連携した取り組みを進める。

・「あたたかい『つながり力』が子どもを育てる」…豊かな人間関係の中で子どもを育てる。

「知・徳・体の調和のとれた実践力のある人間」の育成

めざす子ども像

よく考える子

きまりを守る子ども

心の美しい子ども

たくましい子ども

学び力

- ◆すべての子どもが参加・活躍でき、分かる楽しさ、学ぶ喜びを感じる授業づくり
 - ・厳しい課題をもつ児童の実態把握
 - ・授業力向上のための研鑽
 - ・自己有用感(認められる喜び)を感じさせる授業
 - ・めざす学習の流れ…つかむ→考える→交流する→ふりかえる
- ◆ユニバーサルデザインの授業づくり
- ◆安心して学べる学習規律(あいさつ・チャイム着席・話をよく聴く)の徹底
- ◆家庭学習(自学自習力)習慣の確立
- ◆少人数・習熟度別指導の充実
- ◆読書習慣の定着(図書館支援員との連携)
- ◆放課後学習室の開設

笑顔
かがやく
東っ子

ゆめ力・自分力・つながり力

- ◆お互いの違いを認め合い、高め合い、いじめを許さない集団づくり
- ◆一人ひとりの思いを大切に人権学習 障がい理解教育・支援教育の充実
- ◆集団の中でのかかわりを通じて自分に自信をもち、自己肯定感をはぐくむ
- ◆規範意識の育成
- ◆自分を大切にするとともに、まわりの人も大切にでき、それを行動に表すことのできる子どもの育成
- ◆カウンセリングマインドを持った生活指導
- ◆よりよく生きるための道徳教育の充実
- ◆あいさつがしっかりできる子どもの育成(自主的に取り組む児童会活動)
- ◆自分を(生き方)を見つめ、将来に向けて行動できる力を育成するための出会い・体験学習の取り組み(進路保障)

元気力

- ◆進んで身体を鍛える子どもの育成
 - ・運動することが楽しいと思える体育授業の創造
 - ・体育授業カリキュラムの系統性をはかる
 - ・なわとび運動、マラソン週間・大会の実施、茨木っ子運動の活用
- ◇「命」「健康」を大切にすることの育成
- ◇食育の推進
- ◇安全に対する意識と態度の育成

子ども理解・人権尊重

学校・家庭・地域・保幼小中の連携・協働